
企画セッション | 委員会セッション | 理事会

[1B_PL]社会と“対話”するために学会が取り組むことは？

学会内外の活動からの視点

座長：小山 真一 (JAEA)

2022年9月7日(水) 13:00 ～ 14:30 B会場 (E1棟2F 21番教室)

[1B_PL06]総合討論

*司会: 小山 真一¹、川村 慎一²、吉永 恭平³、菖蒲 順子¹、鈴木 早苗⁴、土屋 智子⁵ (1. JAEA、2. 日立GE、3. 三菱総研、4. さばえ文化振興事業団、5. 複合リスク学際研究・協働ネットワーク)

2021年秋の大会の理事会セッションでは、原子力の価値及び学会の方向性を社会に伝えるには、内容、伝達者、タイミングが重要であり、また、原子力分野外からの評価を考慮することも重要であるといった議論がなされた。これを受けて学会理事会では、情報発信に関する検討チームを立上げ、情報コンテンツの充実化、会員サービス向上等の取り組みを始めている。本セッションでは、この情報発信や交流のありかたを考えるにあたって、学会内での取り組み内容や課題の他、市民レベルで行われている対話や活動事例をご紹介いただき、社会と“対話”するために、今後、原子力学会としてなすべきことは何かを考える機会としたい。